

弔詞

御逝去の報に接し衷心より
お悔み申し上げます あなたは
恒に三宝恭敬の至念を以つて
多年に亘り住職和尚を扶け寺門
の護持に、寺檀の親密に 或は
子弟子女の育成に寺庭婦人と
しての自覚をもつて恒に献身
せられましたことは宗門として寔に
感銘に堪えないところであり
ます 然るにこの度卒然として
他界せられましたことは真に痛
惜の至りに堪えません
茲に永年に亘る御労苦を謝
すると共に甚深なる弔意を
表します

平成 年 月 日

妙心寺派管長

妙心寺派
管長之印